

# ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(2021年9月分)

2021年10月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

## 目次(以下は主なトピックを抜粋)

### 1. 国内情勢

#### (1) 国家レベル

●[BH憲法裁判所、RS森林法を違憲と判断\(23日\)](#)

#### (2) エンティティ、特別区

ア. ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

イ. スルプスカ共和国(RS)

●[ドディック大統領評議会メンバー、RS森林法違憲判断に反発しRS独立を仄めかす発言\(24日\)](#)

### 2. 外政

#### (1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●[コムシッチ大統領評議会議長による国連一般討論演説の実施\(20～22日\)](#)

#### (2) 二国間関係

●[パルマー米 국무省BH選挙法問題担当特使のBH訪問\(29日～10月2日\)](#)

#### (3) 日・BH関係

●[伊藤大使のマンディッチ・サラエボ市中央区長との会談\(1日\)](#)

●[伊藤大使のBH対外貿易商工会議会議長との会談\(14日\)](#)

●[伊藤大使とベリヤン駐日BH大使および日本企業関係者との懇談\(22日\)](#)

●[ドネブニ・アバズ紙への伊藤大使インタビュー記事の掲載\(25・26日付\)](#)

### 3. 経済

#### (1) 経済政策・公共事業

●[サラエボ・カントン政府、BHのドバイ万博参加を組織\(24日\)](#)

●[閣僚評議会、本年第4四半期の暫定予算を承認\(29日\)](#)

#### (2) 民間セクター

(注:この月報は、当地紙報道などの公開情報を取りまとめたものです。)

## 1. 国内情勢

### (1) 国家レベル

#### ●新型コロナウイルス感染状況

9月の国内感染者総数は2万16人で、前月(8,974人)を大きく上回り、感染状況は再び悪化の傾向にある。

#### ●BH憲法裁判所、RS森林法を違憲と判断(23日)

BH憲法裁判所は、本年2月にスルプスカ共和国(RS)国民議会(下院)が可決したRS森林法につき、RS民族院(上院)のボシュニャク系議員団が提出していた違憲審査請求をめぐり、RS域内の森林地をRS領土と定める同法条項はBH憲法に違反しているとする判断を示した。この判断により、BH憲法裁判所はRS域内の森林地は国有地であるとする判断を示した形。

### (2) エンティティ、特別区

#### ア. ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

##### ●フォルトNS新党首の選出(4日)

サラエボ・カントン(県)政権与党の「我々の党」(NS)は党大会を開催し、先に退任したコヨビッチ前党首(現BH議会下院議員)に代わり、フォルト現サラエボ・カントン首相を新党首に選出した。

#### イ. スルプスカ共和国(RS)

##### ●ビシュコビッチRS首相のロシア訪問(6～10日)

ビシュコビッチRS首相はロシア・サンクトペテルブルクを訪問し、ベグロフ同市知事と会談、RSとサンクトペテルブルクの協力関係につき意見を交わした。このほか、ビシュコビッチ首相はロシア・ガスプロム社幹部とも会談し、RS

が同社との間で2017年に署名した天然ガス・プロジェクトに係る協定およびズボルニク(BH東部)における天然ガス液化施設の建設プロジェクト実現に向けた協力方針などにつき話し合った。

#### ●ドディック大統領評議会メンバー、RS森林法違憲判断に反発しRS独立を仄めかす発言(24日)

BH憲法裁判所によるRS森林法違憲判断に反発するドディック大統領評議会セルビア系メンバーは、近く、BH間接税庁及び国軍(注:共に2000年代にOHRなど国際社会主導にて創設された国家機関)の創設に関するRSの過去の同意を引き下げ、今後数か月以内にRS軍を創設するとともに、BH裁判所および検察のRS域内における活動を禁止したいとする考えを述べた。また、仮にこれらが拒絶された場合には、RS独立を宣言することも辞さない旨述べた。

## 2. 外政

### (1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

#### ●大統領評議会2メンバーによるブレッド戦略フォーラム出席(1～2日)

コムシッチ大統領評議会議長(クロアチア系)及びジャフェロビッチ同ボシュニャク系メンバーは、スロベニアで開催されたブレッド戦略フォーラムに出席するとともに、会合マージンにおいてシュミットBH上級代表およびパホル・スロベニア大統領と会談した。なお、ドディック・セルビア系メンバーは、シュミット上級代表が出席することを理由に、同フォーラムへの出席を直前に取りやめた。

●シュミット上級代表とブチッチ・セルビア大統領の会談(9日)

シュミットBH上級代表は、訪問先のセルビアにおいてブチッチ同国大統領と会談を行った。シュミット上級代表は、国際社会のBHに対する監督制度の終了については、EU加盟に向けた前進を含め、BHの国家機能の回復が重要である旨発言。これに対してブチッチ大統領は、歴代上級代表には偏向姿勢が目立ったと不満を述べつつ、シュミット上級代表にはバランスのとれた対応を期待する旨述べた。

●コムシッチ大統領評議会議長による国連一般討論演説の実施(22日)

コムシッチ大統領評議会議長は米国を訪問し、第76回国連総会一般討論に出席し、22日に演説を行った。このほか、会合マージンにおいてグテーレス国連事務総長およびファン・デア・ベレン・オーストリア大統領とそれぞれ会談した。

●シュミット上級代表とプレンコビッチ・クロアチア首相の会談(21日)

シュミットBH上級代表は、訪問先のクロアチアにおいてプレンコビッチ同国首相と会談を行い、BHの欧州大西洋統合、選挙法改正問題、経済・社会発展に向けた取組などにつき意見を交わした。

●シュミット上級代表とエスコバー米 국무省西バルカン担当特使の電話会談(21日)

シュミットBH上級代表は、エスコバー米 국무次官補筆頭代理兼西バルカン担当特使と電話会談を行い、BH情勢などにつき意見を交わした。なお、エスコバー次官補代理は、パルマー前米 국무次官補筆頭代理兼西バルカ

ン担当特使に代わり9月7日に就任。また、これに伴い、パルマー前次官補代理は新たに設置された米 국무省BH選挙法問題担当特使に就任している。

●ドディック大統領評議会メンバーの「人口動態サミット」への出席(22日)

ドディック大統領評議会メンバーはハンガリーを訪問し、ブダペストで開催された「人口動態サミット」に出席した。また、会合のマージンにおいて、同会合に出席したブチッチ・セルビア大統領、オルバーン・ハンガリー首相、ヤンシャ・スロベニア首相とそれぞれと会談を行った。

●EU要人のBH訪問(30日)

フォン・デア・ライエン欧州委員会委員長およびフライズ欧州対外行動庁(EEAS)共通安全保障・危機対応局副局長がBHを訪問した。両者は、大統領評議会3メンバーとそれぞれ会談し、当国のEU加盟プロセスおよび組織犯罪対策などにつき意見を交わした。なお、フォン・デア・ライエン委員長による当国訪問は、同人が2019年12月に現職に就任して以来初である。

(2)二国間関係

●セルビア警察によるブラニ元BH連邦警察刑事局長の逮捕・拘束(12日)

12日、セルビア警察は、先のBH紛争中の捕虜に対する戦争犯罪容疑で、両国の国境地点においてブラニ元BH連邦警察刑事局長を逮捕した。13日、コムシッチ大統領評議会議長およびジャフェロビッチ同メンバーは、同逮捕はBH紛争に関する真実を歪曲し、紛争中の犯罪行為の相対化を試みる行為であると

して、セルビア政府を非難するプレスリリースを連名で発出した。

#### ●BH・ドイツ首脳会談の実施(14日)

テゲルティヤ閣僚評議会議長(中央政府の首相、セルビア系与党SNSD所属)は、アルバニアの首都ティラナを訪問し、同国を訪問中のメルケル・ドイツ首相との間で会談を行った。この中でテゲルティヤ議長は、BHの欧州統合プロセスに対するドイツの継続的な支持に謝意を表明した。両首脳は、両国の協力関係を一層強化する方針を確認した。

#### ●パルマー米国務省BH選挙法問題担当特使のBH訪問(29日～10月2日)

パルマー米国務省BH選挙法問題担当特使がBHを訪問し、選挙法改革をめぐり主要各党党首と会談を行った。なお、パルマー特使は訪問にあたり、大統領評議会およびBH議会上院の(被)選挙権を構成3民族に限定する現行憲法規定の廃止およびセイディッチ・フィンチ事件判決の履行の可能性などにつき議論する考えを述べていた。なお、主要政党の中では、ドディックSNSD(セルビア系与党)党首のみ、パルマー特使との会談を行わなかった。

#### (3)日・BH関係

##### ●伊藤大使のマンディッチ・サラエボ市中央区長との会談(1日)

伊藤駐BH日本国大使は、マンディッチ・サラエボ市中央区長と会談し、現在のサラエボ情勢や新型コロナ危機下の市政について意見を交わしたほか、今後もサラエボ市中央区の市民生活や、特に社会的

弱者の保護の分野で協力していくことで一致した。なお、会談には同区の障がい児童支援団体「コリブリ」のフルニッチ代表も同席した。



(写真:会談の様子)

##### ●伊藤大使のBH対外貿易商工会議所会頭との会談(14日)

伊藤駐BH日本国大使はエグルリッチBH対外貿易商工会議所会頭と会談し、二国間の経済関係について意見を交わした。エグルリッチ会頭からは、日本との貿易促進および日本企業によるBHへの投資拡大に対する期待が表明された。



(写真:伊藤大使とエグルリッチ会頭)

##### ●伊藤大使とベリヤン駐日BH大使および

#### 日本企業関係者との懇談(22日)

伊藤駐BH日本国大使は、ベリヤン駐日BH大使および当地を訪問中の日本企業関係者と懇談を行った。伊藤大使からBHの政治・経済情勢、投資・ビジネス環境などにつき説明を行った。企業関係者からは、観光分野をはじめとしたBHの高い潜在性を評価する声が聞かれた。



(写真: 伊藤大使と日本企業関係者の懇談)

#### ●ドネブニ・アバズ紙への伊藤大使インタビュー記事の掲載(25・26日付)

BH国内全国紙「ドネブニ・アバズ」に伊藤駐BH日本国大使の[インタビュー記事](#)が掲載された。

### 3. 経済

#### (1) 経済政策・公共事業

##### ●サラエボ・カントン政府、BHのドバイ万博参加を組織(24日)

デリッチ・サラエボ・カントン経済相は、BH閣僚評議会(中央政府)の意思決定の遅れによりBHの不参加が決定的となっていたドバイ万博(本年10月から開催)につき、サラエボ・カントン(県)政府が閣僚評議会に代わりBH企業の参加を組織することで、万博主催者側と合意し、これによりBH企業による万博への出展が可能となった旨を発表した。

##### ●閣僚評議会、本年第4四半期の暫定予算を承認(29日)

閣僚評議会は、本年第3四半期の暫定予算が9月末に期限を迎えるのを前に、第4四半期の暫定予算を承認した。なお、現在まで未成立の2021年国家予算は、大統領評議会からBH議会に送付された後、現在、同下院における審議待ちの状態である。

#### (2) 民間セクター

##### ●S&P、BHの信用格付けを“B”で据え置き(2日)

国際的な信用格付け会社である米国のS&P(Standard and Poor's)は、BHに対する評価を、前回評価から変わらず「安定的な見通しの“B”」で据え置いた。